

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	放送映画リテラシーF2（映像技術2）	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品(ドラマやドキュメンタリー等)を見せる。				
担当教員情報					
担当教員	笹本 崇		実務経験の有無・職種	有・映像編集業務	
学習目的					
放送業界全般とパソコン、スマートフォンで使われている技術の基礎知識を学ぶ。 映像技術関係(主に映像・編集)の基礎知識を身に付ける。 またInterBEE(国際放送機器展)の紹介を取り入れ最新の技術に触れる機会を作る。					
到達目標					
放送業界やパソコン、スマートフォンで使われている技術の基礎を幅広く学び就職後に役立たせる。 自分の興味のある職種以外の技術を学ぶ事により、知らなかった事にも興味を持つ意識を付ける。					
教育方法等					
授業概要	テキストを毎回配布、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚える 映像の視聴を交えながら重要ポイント理解する				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで 授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験結果で評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	映像信号の種類(1)コンポーネント422		サンプリングと現行の放送機器に最も多く使用されているコンポーネント4:2:2方式を理解する		
2回	映像信号の種類(2)RGB444		これからの放送機器に使用されるRGB4:4:4方式を理解する		
3回	映像信号の種類(3)SDIと3GSDIについて		現行のテレビ技術の主流となっている映像信号のSDIを学ぶ。また4Kで使われている3GSDIも理解する		
4回	映像信号の種類(4)VGAとDVIについて		パソコンの映像信号に使われているVGAとDVIを学ぶ。またDVIとHDMIとの互換性を理解する		
5回	映像信号の種類(5)サンダーボルト		MACで使われているサンダーボルトやスマートフォン(主にiphone)のライトニングについて理解する		
6回	量子化について		デジタル変換時に使われている方式の量子化を学ぶ。ビット化の計算方法を理解する		
7回	動画ファイルの種類(1)		パソコンで使われているAVI、WMVを学ぶ。ストリーミングやダウンロードの特徴や違いを理解する		
8回	動画ファイルの種類(2)		パソコンで使われているFLV、QT、を学ぶ。さらに4K制作で使われているXAVCの最新技術を理解する		
9回	動画ファイルの種類(3)		DVDで使われているMPEG2について学ぶ。MPEG2の特徴や違いを理解する		
10回	動画ファイルの種類(4)		ブルーレイディスクで使われているMPEG4(AVCHD)について学ぶ。MPEG4の特徴や違いを理解する		
11回	InterBEE(国際放送機器展)について		毎年11月に開催されるInterBEE(国際放送機器展)を見学。授業で最新技術のポイントを解説する		
12回	動画ファイルの種類(5)		実習で使用しているXDCAMについて学ぶ。XDCAMの特徴やMXFファイルを理解する		
13回	動画ファイルの種類(6)		実習で使用しているNXCAMについて学ぶ。NXCAMの特徴やAVCHDファイルを理解する		
14回	ポストプロのワークフローについて		ポストプロにおける編集、MAのワークフローを学ぶ。リニアとノンリニアの特徴や違いを理解する		
15回	後期まとめ復習&後期試験対策		後期の内容まとめと復習、後期試験対策講座で満点を目指す！		